

《日銀短観予測シリーズ No.3》

日銀短観(2012年12月調査)予測

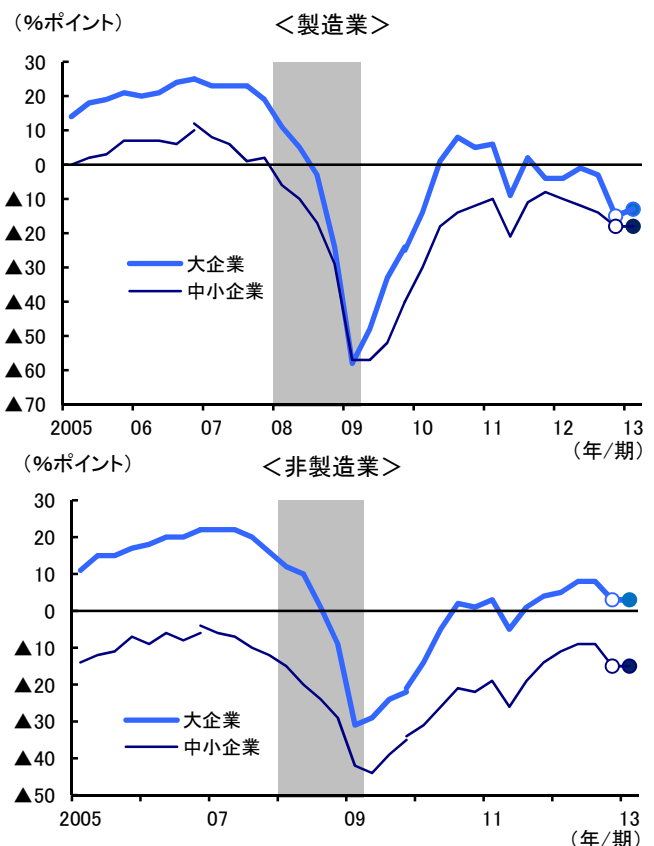
- (1) 12月14日公表予定の日銀短観(2012年12月調査)では、海外景気の減速、日中関係の悪化などを背景に業況判断DIは大幅に悪化すると予想。
- (2) 大企業・製造業の業況判断DIは、▲15%ポイントと、前回調査対比▲12%ポイントの大幅悪化を予想。エコカー補助金終了などによる自動車生産の減少により、輸送機械だけでなく、素材などの関連業種でも業況が悪化。加えて、海外経済の減速による輸出減少により、一般機械、電気機械などでも幅広く業況が悪化した見通し。さらに、日中関係の悪化による生産下振れが、一部業種ではマインド悪化に作用。
- (3) 大企業・非製造業の業況判断DIは+3%ポイントと、前回調査対比▲5%ポイントの悪化を予想。住宅着工の回復により不動産で業況が改善したほか、震災復興が続く建設でも改善した見込み。一方、自動車販売の減少により小売で業況が悪化したほか、中国人観光客が減少した観光関連業種でも、業況が悪化した見込み。
- (4) 先行き(2013年3月)は、大企業・製造業で▲13%ポイントとやや改善すると予想。米中景気の回復により輸出が持ち直すことが背景。大企業・非製造業では、+3%ポイントと横ばいを予想。内需低迷により全般的に厳しさが残るものの、自動車販売の回復などを背景に小売が下支えし、全体では横ばいとなる見通し。

(図表1)業況判断DI(「良い」-「悪い」)

		(実績)		(当社予測)	
		2012年 6月	2012年 9月	2012年 12月	先行き
大企業	製造業	▲1	▲3	▲15	▲13
	非製造業	8	8	3	3
	全産業	3	2	▲6	▲5
中堅企業	製造業	▲6	▲6	▲16	▲15
	非製造業	3	2	▲3	▲3
	全産業	0	▲2	▲8	▲8
中小企業	製造業	▲12	▲14	▲18	▲18
	非製造業	▲9	▲9	▲15	▲15
	全産業	▲10	▲11	▲16	▲16
全規模	製造業	▲8	▲8	▲17	▲16
	非製造業	▲3	▲3	▲8	▲8
	全産業	▲4	▲6	▲12	▲11

(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などを基に日本総研作成

(図表2)業況判断DIの推移



(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などを基に日本総研作成

(注1) ○は最近(12月)予測値、●は先行き(2013年3月)予測値。

(注2) シャド一部は景気後退期を表す。

【ご照会先】調査部 研究員 塚田雄太 (tsukada.yuta@jri.co.jp , 03-6833-6719)

- (5) 2012年度の設備投資計画（土地投資額を含み、ソフトウェア投資額を除く）は、全規模・全産業ベースで前年度比+4.7%と、前回調査対比▲1.1%下方修正されると予想。
- (6) 内訳をみると、大企業・製造業が前年比+6.2%（▲5.4%の下方修正）、大企業・非製造業が同+3.0%（▲0.3%の下方修正）といずれも下方修正を予想。海外景気の先行き不透明感など事業環境の悪化を背景に、企業の設備投資スタンスは慎重化する見込み。

(図表3)設備投資計画
(土地投資額を含みソフトウェア投資額を除く、前年度比)

		(実績) 2012年9月		(当社予測) 2012年12月	
		2011年度 (実績)	2012年度 (計画)	2012年度 (計画)	<修正率>
大企業	製造業	▲ 0.7	12.3	6.2	<▲ 5.4>
	非製造業	▲ 1.5	3.3	3.0	<▲ 0.3>
	全産業	▲ 1.3	6.4	4.1	<▲ 2.1>
中堅企業	製造業	20.4	7.6	6.0	<▲ 1.5>
	非製造業	2.5	9.4	9.3	<▲ 0.1>
	全産業	9.0	8.7	8.0	<▲ 0.6>
中小企業	製造業	11.3	▲ 10.3	▲ 5.0	< 5.9>
	非製造業	▲ 10.1	6.7	9.8	< 2.9>
	全産業	▲ 2.7	0.0	4.0	< 4.0>
全規模	製造業	4.3	7.9	4.4	<▲ 3.2>
	非製造業	▲ 2.3	4.7	4.8	< 0.2>
	全産業	▲ 0.0	5.8	4.7	<▲ 1.1>

(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などを基に日本総研作成

【ご照会先】調査部 研究員 塚田雄太 (tsukada.yuta@jri.co.jp , 03-6833-6719)

«日銀短観予測シリーズ»は、4、7、10、12月に発表される日銀短観を予測するものです。公表1~2週間前を目途に、年4回配信する予定です。